



2026～2027 年度

東京江東ワイズメンズクラブ ブリテン

DEC 10

伝統の帆を揚げ、熱き風を受けて、
いざ出航！～輝く未来へ進む江東ワイズ～

東京江東クラブ会長 宇田川敬司

今月の強調テーマ

ASF



国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク（ノルウェー）
主題：“Waking the Sleeping Giant with Blue Music”（ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる）
スローガン：“YMI – Empowering Life”（YMI – 人生を力づける）

アジア太平洋会長 ラチャン・マニカーン（タイ）
主題：“Awakening the Asia Pacific Area with Blue Music”（アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる）
スローガン：“Empowering communities, Inspiring Generations”（地域社会を力づけ、世代を鼓舞する）

東日本区理事 山下 真（十勝）
主題：「挑戦なくして進化なし」

関東東部部長 廣田光司（千葉クラブ）
主題：地域奉仕活動とYMCA サービスでクラブを元気に

ユースが輝く場をつくる！

東京YMCA 総主事 星野太郎

YMCAで「ユースエンパワメント」という言葉を聞くようになって、ずいぶん時が経ちました。Young Men's = 青年たちによる運動であったYMCAが、気がつけばシニアによるシニアのための集まりになってはいないか――。そんな問いも背景に、若い人たちが主体的に考え、参画し、行動できる社会を目指すというのが、YMCAのユースエンパワメントです。

大切なのは、若い人や子どもたちを単なる「育てる対象」「受け手」として捉えないことです。彼らも社会に参加し、意思決定に関わる主体です。YMCAが考えるユースエンパワメントとは、彼らが持つ力や可能性を発揮できる機会や環境をつくることだと思います。

ワイズメンズクラブの皆さんからは、かねてよりYMCAの働きを担う若いリーダーシップのための機会や環境づくりを支援いただけてきました。その一つがASF（Alexander Support Fund）です。これまで奨学金基金（Scholarship Fund）と呼ばれていましたが、近年、支援基金（Support Fund）へと名称が変わりました。この変更にも、若い人たちを単なる対象や受け手として捉えない、ユースエンパワメントの考え方が表れているように感じます。

ASFからの支援は、全国YMCAリーダー研修会や日本YMCA大会、日中韓平和フォーラムなど、全国・国際規模のYMCAプログラムに用いられています。そこでは多くのユースが自ら考え、語り、学び合います。まさにユースエンパワメントが実践される場です。

東京YMCAの中期計画「VISION 150」の行動指針の一つ目は「ユースが輝く場をつくる」です。ASFをはじめ、こうした場を支えてくださるワイズメンズクラブの皆さんに改めて感謝申し上げます。これからも共に、ユースが持つ力と可能性を信じ、その力が存分に発揮される場をつくっていただければ幸いです。



2026 年 10 月本例会

2026 年 10 月の本例会はイベントスケジュールとの兼ね合いから区民祭り参加を本例会といたします。

とき 2026 年 10 月 17 日（土）～ 18 日（日）
ところ 木場公園 江東区民祭り会場

各日開会点鐘 会長 宇田川敬司君

プログラム

会長挨拶 会長 宇田川敬司君

2 日間順次作業に励んでいただきます！！
各日、終了時に伝達、各種報告を行います。

各日閉会点鐘 会長 宇田川敬司君

ハッピーバースデー

菊地茂徳君（9 日）
菅原創君（19 日）
柴田希久乃さん（20 日）

結婚記念日

島田夫妻

今月の聖句

『恵みと慈しみの主よ、わたしに答えてください 憐れみ深い主よ、御顔をわたしに向けてください。』

（詩編 69編17節）

9 月会員数	9 月出席者	9 月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
26 名 内広義会員 0 名、 休会 1 名	メンバー 16 名 メネット コメント ゲスト 1 名 ビジター	64% (16/25)	8 月まで	1498874	8 月まで	35010	会長	宇田川敬司
			9 月分	716	9 月スマイル	0	副会長	鈴木 雅博
			利息	1821	9 月アフター	716	会計	佐藤アドリエン
					累計	35726	書記	相川 達男
			残高	1501411			直前会長	大原真之介
							連絡主事	草分 俊一



ハンガリー例会

サトウ アドリエン



9月17日、ハンガリーの文化や料理を楽しんでいただく「ハンガリー例会」を開催しました。

今回の例会に向けて、数か月前から少しずつ準備を進めてきました。どんな料理を楽しんでいただこうかとメニューを考えたり、必要な食材を準備したりするだけでなく、夏にハンガリーへ帰省した際には、現地ならではの食品やワイン、オークションに使えるような品物を探しました。日本ではなかなか見つからないハンガリーらしいものを、皆さんに楽しんでいただけたらと思い、一つ一つ選びました。

当日は、グヤーシュ、パプリカーシュチキン、ミートボール、ノケドリなど、ハンガリーの家庭料理を中心に用意しました。料理を囲みながら、ハンガリーの食文化や暮らしについてお話ししたり、皆さんと楽しく交流したりすることができました。

また、今回初めてハンガリーの品々を使ったオークションにも挑戦しました。刺繍の小物や Herendi の食器、Rubik Cube、ハンガリーのお酒や食品などを紹介すると、会場は大いに盛り上がりました。

準備には時間もかかり、当日は座る暇もないほど忙しかったのですが、皆さんの笑顔や「美味しかった」「楽しかった」という言葉をいただき、頑張って準備して本当によかったと感じました。まだまだ紹介したいハンガリー料理や文化がたくさんあります。今回の例会をきっかけに、ハンガリーを少しでも身近に感じていただけたら嬉しいです。



ハンガリーと聞いて 思い浮かべるものは？

山崎 常久

ウィーンの東の方にある旧東側の国でソ連の軛からベルリンの壁崩壊のタイミングで本来の姿を取り戻した歴史のある中欧の国でブタペストは名前は知っているけど後は知らない。そう、大抵の日本人中高年には東欧・西欧という東西対立の刷り込みが強すぎて、ヨーロッパの中心、ハプスブルグ家を核とした中欧というヨーロッパ文化を頭ではわかっているつもりでも肌感覚でとらえているのはクラシック音楽関係者か絵画に造詣の深い芸術系の人々くらいだろう。江東クラブしかり。そんなとこ



にアドちゃんがやってきた。ハンガリー生まれで山形に農業実習で来日し、バリバリの山形弁をマスターし、お子さんが江東YMCA 幼稚園に入園したのを機に園に携わるようになり、ワイズの存在を知り入会、メンバーのハンガリーへの理解と知識の無さに絶望した。が、へこたれず、生来のブライトな気質で「お前らにハンガリー魂を叩きこんじゃる！」と企画したのがハンガリー例会。口先でだけ国際交流だ世界的視野だと囁く茹でガエルの目ん玉を引ん剥く例会。アドちゃんの豪華マンションのゲストルームで開催されたそれは周到に準備がなされ、パテをクラッカーで楽しみながらビールやハンガリーワインを楽しむ、牛肉・じゃがいも・人参をパプリカで煮込んだ国民的スープのグヤーシュ、鶏肉をパプリカとサワークリームで煮込んで手づくりパスタにかけパプリカシュチリケ、酵母から手づくりで鋳物の鍋で焼き上げたパン、どれもこれも人柄を映すやさしい味で素晴らしい。さらに十年ぶりに帰国してのハンガリー土産のオークションも。新入会の村田さんの入会式も行われて盛りだくさんのあっという間の3時間。アドちゃん、ありがとう！（参加者：相川、宇田川、大原、草分、小松ちょ、酒向、佐藤アド、鈴木、駿河、滝沢、藤井、藤波、本間、村田、山崎・メンバー外：相川奥方、宇田川奥方、太田総主事、まい先生、郡司さん）



チャリティーラン決起集会

サトウ アドリエン



9月18日、今年のチャリティーランに向けて決起集会を行いました。今回の主役は、元気いっぱいの幼稚園児たち！当日は約80名が集まり、スタート前から子どもたちの笑い声や元気な声が響き、とてもにぎやかな雰囲気になりました。

今回の決起集会のメインは、実際にチャリティーランで歩く



村田 実

ワイズメンズカメラマンの村田です。このたび入会できたことを、心から！嬉しく感じています。これからはカメラマンとしてだけではなく、ワイズメンズクラブの一員としても、江東 YMCA 幼稚園をはじめ、YMCA の活動を支えていきたいと思っています！カメラマンとして幼稚園に関わる中で、卒園していく子どもたちや保護者の皆さんと「もっともっと繋がっていたいなあ」と常々感じていました。卒園してからもずっと繋がりが続いていく YMCA の姿が、私にはとても眩しく見えていました。これからは「撮影する人」から、その輪の中へ。江東 YMCA から東京 YMCA、そしていつかは日本 YMCA まで！写真という自分の得意分野も活かしながら、胸を張って皆さんと関わり、楽しく活動していきたいと思っています。そしてまずは……ファミリースキーキャンプが楽しみです（笑）どうぞよろしくお願いいたします！

予定のコースを、みんなで歩いてみることに。今年のチャリティーラン T シャツのテーマカラーは「サンセットオレンジ」。ワイズメンズの皆さんからのお差し入れのオレンジ色に光るブレスレットをみんなで身につけ、T シャツとおそろいのオレンジ色で、楽しくコースを歩きました。

子どもたちは先生やリーダー、保護者と一緒に歩いたり、友だちとおしゃべりしたり、時には元気に走ってみたりと、最後まで楽しそうに歩き続けました。約 80 名で歩くと、いつもの道も一気に楽しいイベント会場に早変わり。オレンジ色の光があちこちでキラキラと輝き、子どもたちの笑顔と笑い声で、とても楽しい時間になりました。

そして、無事に歩き終えた後のお楽しみは、ワイズメンズの皆さんからのもう一つの差し入れ！ジュースとゼリーが配られると、子どもたちは大喜び。たくさん歩いた後のおいしいご褒美に、みんな笑顔で楽しんでいました。

今回の決起集会は、本番に向けた練習だけではなく、みんなで一緒に歩く楽しさや仲間との一体感を感じられる素敵な時間となりました。本番も今回以上に、笑顔と元気いっぱいのチャリティーランになることを期待しています！

参加者：草分、駿河、宇田川、村田、サトウ（ア）

記念すべき 第40回チャリティーラン

滝沢 圭太



当日の空は曇天。そして私の気持ちも、空模様とよく似ている。

「まずい、全然練習できてない……。」

今回は YMCA 幼稚園時代の同窓生で、今は園保護者のパパ

も一緒にチームで参加。それはとてもうれしいのだが、スタート時間が近づくにつれて不安もどんどん大きくなる。事前に一度、7 割くらいの力で走ってみたものの、どうやら全力だったようでふらふら。果たして本番は大丈夫なのか。

そんな心配をよそに時間はあっという間に過ぎ、いよいよスタート！

トップを任されたのは、われらが会長・宇田川さん。私は 3 走。今年はトップスタートではないので、少しだけ気が楽。

ところが、トップスタートの“ガチ勢”がものすごいスピードで戻ってくる中、会長も必死についていき、タスキをつないだ直後に倒れ込むほどの力走。続く 2 走は、元運動部の若手パパ。会長の頑張りを無駄にするまいと、なんと 15 人ほど抜いて帰ってきました。

……うそでしょ。これ、自分も頑張らないといけないじゃん。

タスキを受け取り、「周りに流されない、走り切れるペースで」と自分に言い聞かせながら、走る！走る！走る！途中で若い子に抜かれるも後半で抜き返し、さらに 2～3 人を抜いて、なんとか順位をキープして次走者へ。

4 走の同窓生パパ、5 走のまなみ先生、6 走のパパへとタスキがつながり、ふたを開けてみれば、なんと 7 位入賞！

江東は仮装賞の特別賞もいただき、打ち上げではもう 1 チーム 32 位 & 雨を耐えきった天候にちなんだ「サニー賞」まで。準備してくださったにディレクターと先生方、さすがです。

走る前はあれだけ不安だったのに、終わってみればやっぱり楽しいチャリティーラン。来年もまた楽しみ。

参加者：宇田川、太田、山崎、駿河、佐藤ア、相川、草分、村田、藤波、滝沢



プール解体（焼き鳥）

本間 剛

8 月からの雨続きの東京エリア。その中、9 月 12 日（土）園庭にて、ひと夏設置されたプールを解体。幸いにも、直前に雨が上がり曇天に。凌ぎやすい作業時間 & 焼き時間となった。近年の酷暑中の高温を、気にしてのプール遊びと比べ、今年は園児たちの活用機会も限られたのでは、、、と感じながらも、例年通りの有志の保護者の協力で、解体 & 清掃 & 屋上の倉庫までの荷揚げが粛々と遂行。その脇で、ワイズは同じく恒例の焼き鳥大会。作業開始時の保護者前での



宇田川会長からの挨拶や、これまで送迎の機会も無く、初登園だというお父さんなどと多少の交流を持ちながら、当日参加の保護者の分、先生の分の焼き鳥を手分けして早々に焼き上げ、定刻通りの任務完了。設備の洗った後の園庭の砂の上の水溜まりを指しながら、保護者から一言。”これが日頃の園児たちの天然のプール”。水を貯めては、園庭の砂上でも泳いでいるそう、泥だらけの熊シャツが懐かしい！？

作業後の、以前の酒を飲みながらの談笑時間も懐かしみ、保護者との世代の差の感じつつ、次週のハンガリー例会の下話なども終え、プール解体&焼き鳥コンプリート。DJニコラスっ〜、”駿河先生の『つぐない』(テレサテン)を聴きたい〜♡””つぐなってえ〜”

それにしても、なかなかすっきり晴れないなあ。。。

参加者：宇田川、草分、酒向、佐藤アド、島田、駿河、本間

東京グリーンクラブ訪問記 (ブルキナファソの水)

山崎 常久



廣田部長の東京グリーンクラブ公式訪問に国際・交流&ユース事業主査として同行しました。9月16日の東陽町センターで卓話者は札幌クラブの小野健会長、お題は「アフリカの村落給水・衛生事情」。この卓話の為に札幌より飛んでこられました。氏は長年、アフリカ中西部のブルキナファソという国で村落給水施設管理や衛生改善プロジェクト支援、その他、アフリカ数か国の給水プロジェクトに携わり、各国の生活環境、水、衛生設備へのアクセス改善などに活躍されてきました。具体的にはブルキナファソの話になりますが、雨季と乾季ではっきり分かれた上に、根本的に降水量が少ない地域で予算も限られた状況での支援との事で、飲用水(井戸水・雨水)のみをピンポイントで消毒したり、水を使わないバイオトイレを設置し、し尿

を水に「混ぜず」に分離し、微生物で安全に分解させて農作物の「有機肥料」へと変えたり、シャワーや洗濯などで出た比較的汚染の少ない雑排水を現地で簡易処理し、乾季の農地へ撒く灌漑用水として再利用したとのことです。又、農村部では、過去に多くの国際組織が井戸(ハンドポンプ付深井戸)を掘ってきましたが、「壊れたら誰も直せず放置される」という問題が多発していたので、住民自身の手で井戸を管理し続けるための仕組みを叩き込んだとのことです。イスラム過激派が跋扈する同国での活動は大変な苦勞がしのばれます。氏は近い将来、マダガスカルに移住して仕事をし(何をするかはここでは秘密)日本とマダガスカルのパイプ役になりたいと熱く語っておられました。又、次回はベナン編との事なので、ベナンと聞いたら黙ってられないので、その節は是非、合同例会をと話してきました。あとは役員の皆さん、よろしくお願いします。(参加者：山崎・グリーン7名、関東東部3名、他クラブ2名、小野)

世界大会に参加して

鈴木 雅博

今回75回目で当初はドバイの予定が戦争でマレーシアのペナンに変更になりリゾートと言うことで心ウキウキでしたが隔



田川より汚く海水浴とは程遠い場所で季節的に雨季なのか外に出られず4日間雨でした。

日本からは30名ぐらい全世界入ると数千人の参加でした。私は相変わらず東日本の代表として獅子舞を舞いました。

今回参加してユースの活動がいつもより活気があったように感じ特にインド、アフリカの子供たちが元気でした。日本人は毎回控えめと言うか端の方に静かにしています。国民性なのかもっと多くの若者が海外に出るべきと感じました。今後多くの若者を世界各地にワイズメンの力で送り出したいです。

参加者：鈴木

リーダー交流会

2026年9月22日(火)

◆リーダー：川内梨叶(ころ) 3年生
くれよん在籍



今回、そらいろの会が主催したリーダー交流会に参加させていただきました。たくさんのご支援をしてくださったワイズの皆様、本当にありがとうございます！今回のリーダー交流会に参加して、YMCAのつながりやあたたかさを改めて感じました。ゲーム対決や雑談タイムでは、いろいろな方とたくさんお話することができ、とても楽しかったです！普段は子どもたちと一緒に遊ぶことが多いですが、今回は自分自身も子どものように全力でゲームを楽しむことができました。また、私が思いつきでどんなことを言っても皆さんが笑って温かく受け止めてくださったことがとても嬉しかったです。そんな温かい雰囲気

9月第1例会議事録	相川達男	9月役員会議事録	相川達男
1) 十勝クラブ周年行事参加報告 参加者 藤井、小松 S、駿河、酒向、山崎、草分、相川 お祝い金 1万円 会計にて用意 参加者の参加費用個人負担が想定以上に大きかった為クラブより2万円 / 1人支給することとする。 2) プール解体 焼き鳥 確認 9月12日(土)実施 9:00集合 焼き鳥 300本 缶ビール 24x1 ケースをワイズより提供 3) 9月 本例会(ハンガリー例会)について 佐藤アドさんマンションパーティールームにて開催30名収容可能 18:00開始 メンバーは17:45江東センター集合 皆で移動 村田さん入会式実施 入会届、キット手配 相川 4) チャリティラン 決起集会・懇親会等 について ワイズからのランナーは 宇田川さん、滝沢さん、村田さん(新入会!) 決起集会 9月18日18:00木場公園集合 懇親会 チャリラン開催日16:00～ 江東センター3階で打ち上げ ワイズからビール1ケース提供(佐藤さん手配済み) 5) 藤井メンより提案「現在の第1例会は行事の確認や仕事の分担などの打ち合わせのみに終わってしまっている。クラブの運営や会則の見直しなど多方面の話し合いも必要」 6) 9月の役員会より、翌月、翌々月の予定、例会内容を決めていく。 メンバー、参加者、ブリテン執筆者に現在より早く働きかける。 参加者: 宇田川、藤井、酒向、山崎、駿河、藤波、大原、相川		1) 9月26日土 チャリティラン・お疲れ様会など 小雨決行 中止の場合でもお疲れ様会は開催・その場合開催時間を早める 2) 10月3日土 クリーンレンジャー 江東は焼きそば提供 東陽町10時作業開始 9時45分集合 3) 10月16日金～18日日 区民祭り 販売価格(300円? 400円)、商品設計、第1例会で協議 4) 国際大会補助金 について (山崎さん提案) 鈴木さんへ3万円補助 第1例会でメンバー確認 プリテンなどで報告をもらう 5) 埼玉クラブ50周年行事に関して 10月30日(金)さいたま市緑区久美愛教会 参加者を調整さんと確認 6) 11月8日(日) 江東バザー ワイズは焼き鳥、うどん・そば、警備を担当 7) 11月ユース例会 リーダー発表、リーダー OBの滝沢さん、藤波さんに司会進行をお願いしリーダーとの交流を図る 8) クリスマス例会 会場、開催方法などコスト面などから再考する。幼稚園レクホールでの開催、ケータリングや料理持ち込みなどの案が出るが、第1例会にて全メンバーにて協議。 9) 太田さん転会式に関して 10月1日の第1例会で開催可能か要調整。 参加者: 宇田川、藤井、駿河、酒向、草分、相川	

気の中で過ごし、私もみんなが心地よく楽しく過ごせる場所をつくっていきたいと思いました。これからも子どものように楽しむ心を忘れず、たくさんの人とのつながりを大切にしながら、リーダーとして成長していきたいです！ありがとうございました！

◆リーダーOG：板垣あゆ(ロゼ) 2022年度 どころこ卒業・現在小学校教諭

今回、リーダー交流会に参加し、久しぶりにYMCAの活動に触れることができました。現役時代にはこのようなOBOGと現役リーダーの交流の機会がなかったため、リーダーと一緒にゲームをしたり、活動について話したりすることが新鮮で、とても楽しい時間でした。改めて、YMCAの活動の楽しさや温かさを感じました。また、今回の交流会を支えてくださったワイズの皆さまには、開催へのご支援だけでなく、日頃からリーダーのみんなの活動を温かく見守ってくださっていることにも感謝しています。今回の交流をきっかけに、リーダーとOBOGのつながりがこれからも続いていけば嬉しいです。活動の中で悩んだときに、気軽に自分たちに相談してもらえるような関係を築き、これからもOBOGとして活動を支えていけたらと思います。

◆スタッフ：國井貴仁(にい)

「リーダー同士が関係を深める機会の減少」と「卒業後のYMCAとのつながりの薄れ」を課題と感じ、リーダーたちにとっ

て居心地がよく、長く関わり続けられる場をつくりたいという思いから、「そらいろの会」を発足しました。卒業後1～5年程度の若いOBOGが集まり、毎月リーダー会を開催し、自分たちで考えた活動に取り組んでいます。今回は「楽しむこと」を大切に、おいしい食事を囲みながら、現役とOBOGと一緒にゲームを楽しみ、自然と会話が生まれる時間となりました。自分自身が「楽しい」と感じ、卒業した先輩たちが楽しそうに過ごす姿を見られたことは、これからの活動への大きな活力になりました。開催にあたり、ワイズの皆様から温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。これからもリーダーたちのエネルギーがあふれる場所であり続けられるよう、一緒に歩いていければ幸いです。



YMCA ニュース

江東コミュニティーセンター&幼稚園 江東YMCAの報告

▼江東YMCA幼稚園

●9月3日(木)～5日(土)、山中湖センターで「お楽しみ保育」を実施。天気予報は「雨」でしたが、プログラム実施時だけ雨が上がり、予定通りすべてのプログラムを行えました。

●9月12日(土)、保護者の協力を得てプールの解体を実施。前日には園児たちが感謝を込めてプール洗いを行いました。江東ワイズの方々から焼き鳥とビールのセットが振る舞われ、保護者・ワイズ・職員が良い時間を共有しました。

●ホームカミング：9月13日(日)、3月に卒園した子どもたちが親子で登園。駿河前園長先生と手を取り合い「おはようございます」。幼稚園時代にタイムスリップし、朝の会、近況報告、お弁当、お帰りの会…在園の時より1時間延長しましたが、まだまだ物足りなかったようです。

●2027年度入園希望者保育体験会：実際の保育風景を親子に開放し、在園の子どもたちや先生方の様子を直接体験してもらう機会。入園を検討されている知人等へのお勧めをお願いいたします。

●こぐまひろば：月に1回、園庭解放。地域の方々に江東YMCA幼稚園を知ってもらおう取り組みを行っています。

▼江東コミュニティーセンター

●チャリティーラン決起集会：9月18日(金)、実際のコースを親子で歩きました。江東ワイズから子どもたちに、光る腕輪を配布、終了後にはジュースの提供。エトリーランナー、子どもたち、応援団が一致団結することができました。

●9月26日(土)、チャリティーランが開催。江東センターからは3チームがエントリーし、7位、20位、コスチューム賞(写真)を獲得。江東YMCAのテント下には今年のチャリティーランTシャツのオレンジが輝きました。江東ワイズ、虹の会よりエントリー費の寄付をいただき、その他、オリジナルTシャツの販売にも協力いただきました。



▼江東YMCA街頭募金(熊本地震緊急支援募金)：

熊本県熊本地方の地震が発生し大きな被害が報告され、多くの方々が不安な状況の中で過ごされています。必要な支援を一日も早く届け、継続的な支援活動につなげていくために

募金をお願いいたします。

クレジット・WEB募金、江東センター窓口、館内に募金箱も設置しています。ぜひお気持ちをお寄せください。



江東センター&幼稚園の予定

▼：10月17日(土) 運動会

▼：10月19日(月) 保育体験会

▼：10月23日(金) 保育体験会・バザー委員会

▼：10月26日(月) 保育体験会

▼：10月29日(木) お芋ほり遠足

▼：10月30日(金) 収穫感謝礼拝

オール東京の報告・今後の予定

●9月1日、「関東大震災第103周年記念追悼合同早天礼拝」を在日本韓国YMCAと共催で開催。55名が出席し、金性済牧師に「わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない」と題してメッセージをいただきました。

●9月12日、「2026災害スタディ」を江東区社会福祉協議会と共催で、東陽町センターで開催。地域の諸団体や企業、東京YMCA会員・職員等48名が参加。防災街歩きプログラムや非常食やAED体験、防災スリッパ作り等のワークを通して、多角的な視点から災害について学ぶことができました。

●「第40回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2026」48チーム288人のランナーが参加。総勢約1,100名が集まり、益金は4,816,749円。障がい児支援プログラムのために使わせていただきます。

●2027年4月、世田谷区のYMCA保育園ねがい内に、小学1年生を対象とした新たな放課後児童クラブ「YMCAキッズクラブのぞみ」を開所。子どもの自主性や安心できる居場所づくりを主軸に、野外活動や国際交流など多様なプログラムを展開予定。

●熊本地震被災地支援として八代市の避難所運営支援を継続。12月末頃まで交替でスタッフ派遣を行う予定。9月19日～21日には、阿蘇キャンプにて八代市の小中学生を対象とした第1回リフレッシュキャンプ「あおぞらキャンプ」が実施され、東京YMCAからユースリーダー3名が参加。

江東ワイズ 今後の予定

10月21日(水) ワイズポテト搬入(江東センター)

10月22日(木) 役員会(江東センター)

11月5日(木) 第1例会(江東センター)

11月8日(日) 江東バザー(江東センター)

11月19日(木) 本例会(ユース例会)(江東センター)

11月26日(木) 役員会(江東センター)

12月3日(木) 第1例会(江東センター)

12月13日(日) クリスマスオープンハウス(東陽町センター)

12月19日(土) クリスマス例会(会場未定)

編・集・後・記

もうすぐ区民祭り。毎度人が足りないと慌てますが今年はいかに？(YS)

ハンガリー例会ではアドちゃんのホスピタリティに感動！相手を思いやる心そのものが「おもてなし」であることを実感しました。(SF)